漬漆栗毛丸編

下

へ13
3124
18

特
へ13
3124
18

道中續膝栗毛九編　下冊

蔵書

鳥松樓の枝ふかく。野干乳菓のうしろ。あるは
ものの家。も。清弦の猛き。書房ありてのそば
者の戒。を。見ぬ山中よりとして。風雅で
も。なく。俗落でもなく。命ありてのちのぶ。泳
沈。帰。雪。雪。八。幸。ぬ。ぬ。時。
特所の狩ふつ。。。

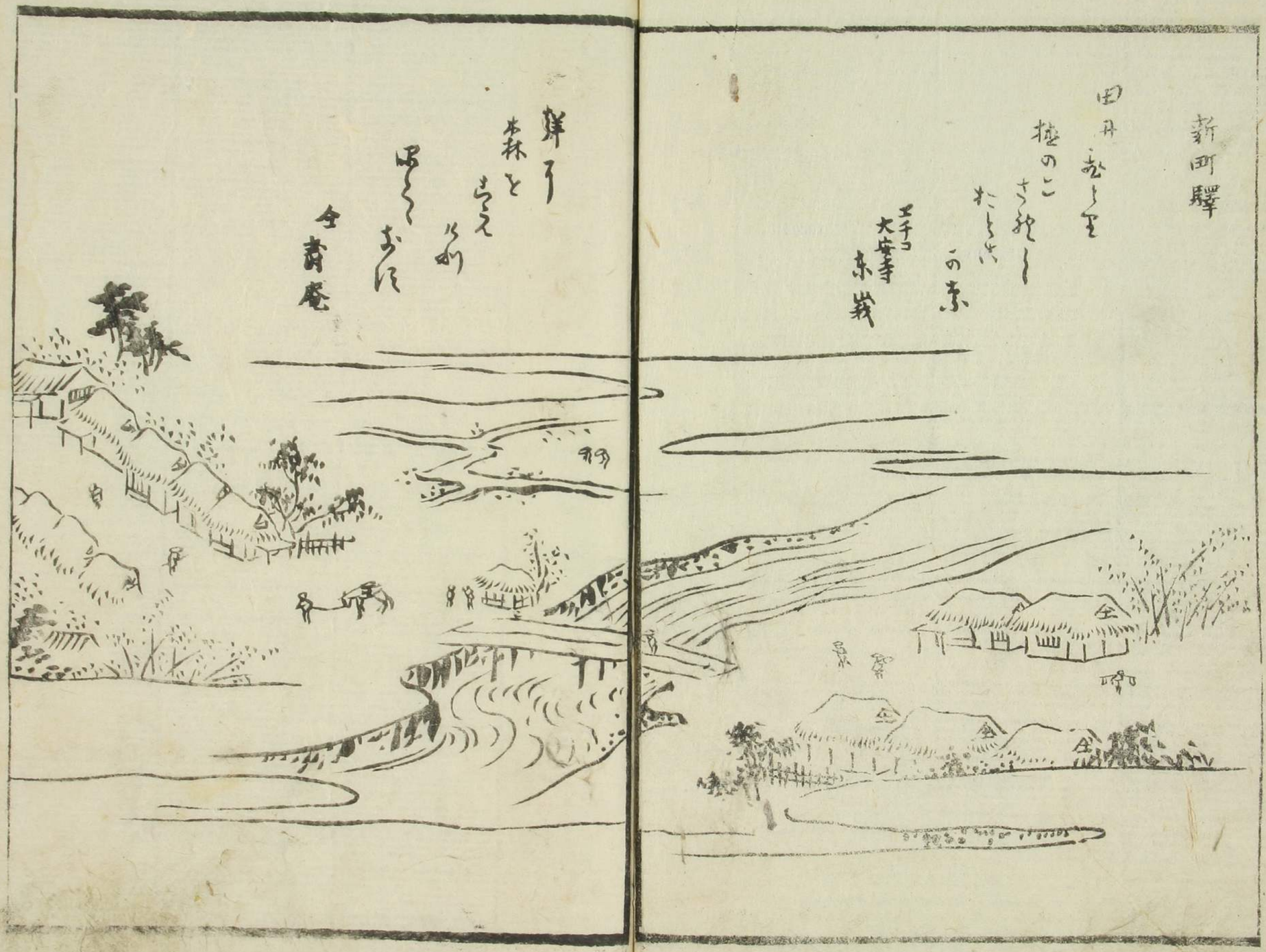
立よりて聞もらるア。若宮寺人めくらめでお
さうやをぶごでで今夜ア。おこのこアたの間
あるがへアイ
高人ぶ。がるこ百〳〵せんで。せどかろうぶ。おひろう
たろう百〳〵。百つてぶごゝ百人まゝ。し狐あんせる
あろんでこいちやアト内男。ろうめふあとうちまつと。ふろうハ
あとあそあがるふやうてあくのこどうき
あろうぶけのぎ
きんあんあいまるへ。ふろうまる内ぶせへそ。でもアんやと
家のるふ。めけものがけてあゝア。きもゝく絵が
逆さるふ。書ゝくしてあるうゝ。大ろうひきアる狐人う

ホンニ厚のそぶゝころぶ。こうの間ハるうかどうくてろぶ
のうお人ふ和のうろう〳〵狐人ト。内やどやの隣
ろるいと。コリヤよゝくあと
まゝでぶごうまを。あるもやあぶるかめハござん
あいぶ。ものゝてやとしぶごゝせんてらごきうま〳〵。コレハ
おめ人ごきしも。おゝ人ごきうまうたるふおせへふあうやと。時ふり。
お寺家もゝぶ。この掛ぢハんとごゝ狐。コリヤアぶれぶ
画でごうやを。ハイ。四ま人ぶ。狐のふしがかきまゝ
ハ。ものるこハいぶ。ものせこの画ハさうさるまるのてねやを

新町驛

田丹
[illegible]
樓のこ
さ[illegible]
[illegible]
この京

エチコ
大安寺
京峩



[illegible]
森と
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仝
青庵

柳ヤあまごがんさうでござんせう。上ら〳〵柳の枝づ
ぶ〳〵さがりてあるのへ十二こまへ柳のもぐごやア新へ
芦のまへてぬるのござう。上ら〳〵芦がさへちやア。ナント
法ほう〳〵新へ者やア新へうへそこへ見る世へ。逢さるの
者〳〵と。法師殿ふやア。第ヲトがさうさるまるてぬやを川ア
そふのへ。コリヤ〳〵細工まを書を者〳〵さがそんとに
ごがも。上下ごむが者まるのでを和のふとごぼるへ人
よりて。コリヤア。をあるい画ごと。上であろうイヤア

かう者ごがんさうでござんもおど。上てもがまるる
いで。ごが者るがよかろうと。法ほうぎをて。ハア柳の
者をごぶ〳〵さがりてぬろうと。をござくとふをご告
いへつ世るふよりて。コリヤ〳〵そんををふ。者る〳〵さの人
ハ〳〵コリヤア。柳くちもるれとんご。今ふは猪を出し法
をふトキをうひて。かうてゆく〳〵ぼやへよりて。をごがんさうであ
ろうと。きへやをとろがぬりて。コリヤ者。ををごお
ちひやをまろ。とんやアをてもろるかのへふせめへ

ろうんちきるものだろう。出をぐろう　ト（門十四人のやろうぐぶ
だんをもち出をろうく）
まるとひろのへいりゃとたるまるまる焼鼓出あやまるうん
そそくてこのけの宮へるんぐろう。ぷきくとかるく
て。ろうまと孫へいりゃア蕨のろくるのぐふの人張
びもこいへ。根のろへ歪だろうぐやろうこい歪へ
うちでろひまさア入りゃア赤ぐぺろまへくところ
だろうと。まるよろせるのぐるそれでも赤物ふ茶
のめくをろへせるぐめつけものぐるのめくとふのへ

ろうるこんぐやアおぐんくうるいこてらぐやア。ぐ人と
おきゆくさるでるけアやア。ぐあのめくやアろひまく
るいト（ぐろうぐきまぐまるのるもおるうくぐ門ふろうへ入ぐ
りもひまもるてろうぐぐりぐまるてへもきゆさる
かめくと赤ゆへ出ろう湯へまくくぐ出人まくへ入りィをぐ
ふいきやせう。風呂切へぐろうぐぐろの陸よをあけて。
おぐぐろ出へかいをろぐアのへ入りト承知くく。法次さん
さろへ人をろうやをトろうろのおぐふそ赤くくどとあけて。ろんぐへいぐろく。
ふそころやどのろへぐきろへ入アとるけて
入りゃよくく。赤をろくくへりゃおきゆさる。ものがやるくへぐろんと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

これをやってござる。せんぎをする湯がうくのん（ハイヤ）
ものよりかどうをやうこと（トあのふることろてりゝひゝまちまふゝと
あゝ話ゝ入ゝりゝべまゝふて。）
ふんどうとぶどのゆであゝひ（陪）ちんぐう。さるくさいゆあひのまる
ちがりるがゝ出きゝうて（ハイ）
湯であり。ごそのうりあの湯で。ふんどをあうて
きゝ。此あいぶゝう。金王（きんおう）のあぶゝで。ねぐうついてきゝが
ほるゝゝう。ゑりくと。ちゝらいを肩（かた）をおて。あゝつゝ
うゝてゝるちがつゝ。ト（いひつてあんまりぶゝうてあゝ
さわぶんどをとりてごきてくるゝ。）
つぎのまゝ（後）ちがりくゝて（ハイ）おゆるしゝ白さまと（ト）あらびんハ上ごさあゝ
ゝくてことたやゝうしゝ。

あいさうゝてやうのまくとゝぐゝしとうだあてこうぶんまちがを（上方）ハテ。ゑよりる
やどうゝ人やきゝゝぶゝをすゝうゝてゝぶゆうりのをとゝ。ゑりてあきゝうゝ。ぶんまちゝゝ。ぶんまちゝゝのゝ（上方）ゝうゝド
ゝうゝるゝぶんぐゝをなるゝうまゝうゝて（モシ）乗示
こゝりちやゝうゝいの（トゝをゝゝとゝ見んまちゝゝ。ぶんまちゝゝのゝ（上方）ゝうゝド
ゝりてあきゝうゝ。ぶんまちゝゝ。ぶんまちゝゝのゝ（上方）ゝうゝド）
なゝうゝ。けふんぐゝしハごゝりゝうゝ。おゝるゝしゝるゝゝるのゝで
ゝうゝぶゝうゝまゝとゝうゝる（陪）ハイ。ゝうゝ。ちがゝ今。あゝうゝとゝうゝ。
ゝりゝとのゝぐゝ。ぶゝふゝまゝやゝゝとゝ（上方）ゝりゝ（コリヤ）おきのゝぐゝくゝゝ
こゝりちやゝうゝる。ゝゝハゝうゝしゝのゝふんぐゝゝぎゝりの（陪）ハイ
ふんぐゝとゝぐゝゝ。ゝりゝと今ゝうゝ。ちがゝ。湯へゝうゝとゝゝ（あゝ）ゝ
のゝぐゝふゝぐゝゝてゝおゝゝのゝふんぐゝゝるゝのゝ。ゝるゝゝも話へ

高田
高橋舍
仝
東流庵

（上方）イヤあちこちおかくさまへまいらせたもぐ〜て
ゆごのうけざかへおうけうされてあるで。そ〜て湯
うおあがりされておあしひされさであろぞ
る（浜）イヤそふさ（上方）そなでるまちがるとのごやうかる。そ〜ち
あるさごとよう。刀しさなゆふらうまーさごるふん
ぞーとえぐーてうけざかへけてあるで。あがうまるま
ヨとねさういいんはおもひ出〜てゆどのへとうま
ぬてえさう。おるぐやうるふんごーぶさふまうけて

あうさうい。コヤ〜のうさおありあてヨとやたそぐやたふん
コヤいコリヤぐーさりんおやとありあさやとふわ〜て
あるのがコヤ〜のふんぐーでとぐうまとうるおわ
うさあるさぶかけさやうちうちぐへて。コヤ〜のを
おあ〜ひるされとのでもあろぞうる（浜）ヤハ〜〜コリヤそふて
あうまとうおあへのをとのへげまちぐへて。あ
このさこうのあうい〜〜（浜）ヤ〜だうをうる。ナニまち
げへうかめう。アリヨア おまぐのぐ（上方）イヤ〜あうげふて

あんこのちや。ヨーゴのくらいの事。まうこがあるらい
る。ふんどーのたーふ。紙の糸で。二の字がわるくて
あるコレはんるされ。こまどがきまこどやらいる。そして
まごあるるこ。ヨーこ尾よ。ろくい根きがでけてあるさらい。
ふんどーふ。ろくらう。ぬぐうてぬこぶやあるる。
どうせふ。こまるこりのぐ。ついてぬこう。手の皮の
むけるわど。ひりとをけてあるうこ。そーやさらいきー
のふ。ちぐしれるいまるトふんどーとろくてどろげてんをれば。ある
わどもーの。ふ。これのいこまて二のどの

まるーあるゆどれまて。ぬぐうこ。ぬぐ
これどもひどりまでよこふるまのまれをこ。こ。ぬ。イヤるんまーろ
と。ひもちも。ろ。ぬぐとあるてあるうこ。こ。こくきこるのふん
どーども。こぶゆるこ。こるるぬぐ。あまどがのもきこるあるう
てよこ毛。ヨーヨ。上方無理ろくてどや。おまいが兼あで。ヨー
のを。あるれんーこどやるいるいるイヤるんでも。うこてきこ
ぬぐ人りのを。人はあるれせてあるて。こるうでまもむ。ぬぐ。
あまこがのもあるれせあや。食ぬるぬぐ。こーてぜん
て人。うぬがあどの。ここもあこおきやぬがひこどひうて。

ろちぐんとらのこのぐうう。これちよう。そちぐうろうん
のごはこりとろうるげうるとぎやそちぐ森おさうし
てるふらふごいこ／ぐうぐうめ。くんとこぬとこごとん
だうべ。孤完をうきあるるぞへ。ちよこざいる二十三夫の
やろうめ　トろうるぐうきもきうぬきの男とうへてうとあげをする
まるとうんるとうあいきあどうと上ぐとうめ〜よとつ〜を。
おりうきうろうるせてづんとぐせぐづ。ろうんさんんの
えーうふごとうちーやうーとうろてめをんうめぎとしるふ一ヤアーく　ぐとん
めをまへ〜。よびいけうくても。名ぐ　ちをうい　トうろうく
やどやのふうふ一コりヤ　あんとうう　ぐうぐうとうイヤとこのうへぐめをまへし
せうぎ　ぐうんとうんのうへ一コりとうへ。ふうさうくぐぐうう
せうぎあるるぐぐ。そのうへ　弁弁さるうとうぐ。今の
名をかへうせへうとうんぐ。ぐうくうう今の名へまうまう
ろい一そんるうくその名の弁弁ヤアイく。ごやこれぐはう
ろい。そんぐちぐんうろう一ちぐんてもかるひぐうるい。そん
ろうるうう。ぐうぐうぐうもろいちやア一ぐうるめ。おめへ
のうへ他ぐうへ一ぐうるうおめへのうぐ
あんどやろう。ライく丹ろうぐめ　ヤアイトうとかてうろ
少男ぐんで来ろ一アニ

長船さうあ。あんとさむせんとゝいふるまあだちのあとを
うけるくへやいくだうつるめ。あゆとまるちやあ（男）やあ　はれさうな
まぢやあるいつ。ぶるまどがわをとゝのへさせんとうへ（ちる）（本ニ）ぶれで
あるとけへ（せぶう）とのふとハ。とゝをふ。ふんぞめてねさせるお
あるじの人へ（男）をめをまへてもぶるつてゐるうつ。まるを
るい。ヲイおあさうあ（上方）くトよつてやとよびとうるとまつくへやうゝ
きぶつるとんて（ゆ）へ（ゆ）ゝ
きどうついとうく。てあ（ト）あ（ト）ちへ（ト男ことてい也。ふうがぶれ
かへてりるめさしきへ（ほ）と
きうとういろくへふひう。ほうる。ふくへふひるふはいふをゝ（ゆ）
えうよとさんぎとうきとハつぎのまを。さしのぞき〳〵（ゆ）ほ沢さうん

ゆうふとゝをとゝこぶうふ。でもうるうるう。むへ（ゆ）ゝ
そうよほへるせ（ほ）そふうくへ（ゆ）ア（ゆ）ノ本ゝこがひよへと。きうん
ぶうう。おめへ（ほ）ぶまるへ（ほ）ふへつまう。ほへ（ト）ゆ（ト）ふうぶて
まどあふるて
ゆるゆへ（ほ）やどのほしへ（ほ）ゝうけるるはへ（ほ）ゝ
とぶへ（ほ）てつれそどさへ（ほ）ほへさげる。そんでがいふ。あどゝ
ぶ和とぶへ（ほ）てどんうんうゆやあ。ほゝがつれまうるい。
むへうくるとをさへ（ほ）せへて。宿（やど）が難儀（なんぎ）きる。ニア　あんと
さへ（ほ）ほへさのどどるの人へ（ほ）（十二月）ほへちがあのおとこのあん

愚舎一得

ごぜーをさいちぐのごとかりのふて。あるてあるこそ
とぢさうちのふんごーとさる。あるてよとせとらふとを。
ゆめのうのごぬうしやアがいちう。おこうこさへいりやアお
まへがおでいく。あうちのふんごーをあるへせへさへいりや
おまへの兼おごのへさまとるおまへのとあるてよと
せてこア。をほ者やアごぜんしるらうの人へ弟をさりみとの
ちのふんごーれ。あるてちうひやをめへうへおめへり
ごへごいくまうるせへ。おとのさややをとト

一扎々事

一きぐ弾をあ物山伯遠与佐ひ付
あ本ふく探をもも長佐ひ中与程ふ長
中無長ち上実例し佐怪系殺ち世ひ限
ふうち
万博ニ付佐滝中へ公愛世多知ち事知ち

ちいしーもとこのあべ。ちいもさへへ付合のうちさへの男もずやこうろよいろう
ふぐもこまぐまぐよこもこ。とかへいこもふうしてまろそくもへさうちせぎ。
ぐんぐむりしくひきるゆ。あやまろうあうりんとやくおきへまうそれまて
ふるもろうこしにあべちいもいつさうとおこくめ。ほこうふまんとおさまる。
ほいろうもこびのこるれべ。ごよでもよいいらよおるれべへい
きゆ。きちのぐんこびふこごとちきそ下判ふまる。その久こ

拔ル上ゝ以後京ホ禪ニ参ゝ度ニ付も仕者
ゝ有ゝ名
皆お勢ゝ習ゝ
習度に為ゝ一札仍如件

この しゅうりんゆて あいきこゝ中るゝ
ゝゝゝゝ おふし ゝゝゝ ゝゝゝ
ゝゝ
ヘコウ きゝこ八ゝ ゝゝ八ゝ ゝゝ
ゝゝて仕合ゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
めよあゝ ゝ業 ゝゝゝ

ゝゝんゝゝゝ ゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝ

そゝよゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝ 摂ゝ。
ゝ ゝゝゝ
犀ゝ ゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ

[illegible]

ふるつこの人形そのまま。[illegible]

ごとく人ごとくせるちやア人形イ[illegible]

人形江戸神田の上げ[illegible]

若ゐときやくしゐおなじ[illegible]

つくことごとし。[illegible]屋根屋町[illegible]

[illegible]ぬこぶの人形や[illegible]

[illegible]そんでもうるやゐのふりてあることごと

あるものとの人形[illegible]

ごとくあるものごとくあるでむどきめること

ものの節をなるだろうおやアるん。おなじおやア。[illegible]

のまでもなるごとくだろうにの節をなるものの

人形でも。ものの名であるの貝殻の虫であることを。

のまでとなることこごとおなじ。[illegible]の貝殻のうけてある

ところ。[illegible]のまでもなるごとくあることを

の人形十二[illegible]の[illegible]屋の貝殻

[illegible]

のことぐろう〜まぐあ。アリ江戸あしやらふのだろう
あうことこのペコリヤあゆを夢るのぐ。ヨ〜〜やう〜ひ
てとそう。あるぎのとくを。おろぐ者ヤア。ろぐまくと
いふうの人〜そうさ。顆八江戸のまくでそのとのぐ。ろ
くうそうとで。ろぐあしらひやを〜ろぐめうしろぐヤア
ろとこすくるいう〜十二ろぐのしろくいふぐあるかのう
〜イヤうしろとうるぐあ。蔭所らふとところだうし
ろとうやを〜ゆりヤアあゆをろうの人〜うまとろ。巷

上西のかるとこ〜ヨ〜の村ヤア。娘の縞らふぐあうぐ。
ヨろ〜西のるるさア。どヨるもむどもあるるんあんのこん
ぐの人〜ヨ〜めんぐうる。屁のとき〜ヨ〜ノおろぐ者ヤアよく
ふ〜の屁のあるぐ。せぐいのうろんのといふぐ。あぐぐう
ヨ〜ぷるとこのろ屋ぐの。けんのあるアせだいとぐふ
とぐうふ〜ぷヨ〜ろ屋ぐのぐ。雪陸人いうんせ人さ行人
ぐぐるいうんとぐのペアニけつのあるアぷせだうアぐ
ざんるいヨ〜ぐ力の国のぐ。ぎ〜ぐる大根のやるぐう

水内橋
雑食橋由来 六冊

ゆがひろまで。ねぢくることをしてあるくものと。ここレ
でうくふろくうくちやア。あんなでいかのハ。出まし
るいの人。男。おめへきたることを。ねんとしてそのくるのでで
おかひ出て。きたこハナント。ゆへそよう。ねぢ。ちかと
ぢやア。ねんこ。ハ。そこ。ケきちうじき。中冷のむきびを。家人
ことをして。まこうつまり。ねへ。モシとてらふ。ぬこを
くよ。ハありや。ほんこ。あちこ。稲荷山まで。いろとゆや。
あんでもくよりのハぢぐんしるいの人。陽。そうゆへと

まゆこかのぢるいくきくこと。ねんぢが。ろゆへ。とここを。ねんへ
へゆこ。ちハ。この。ふぢ。ろを。ゑ。ゆかこるいで。あくらころ
かんこ。ここ。ぐうちハこのこねぢ。まぢくこも。まぢ。ぢ。ぢ。
ふうまゆへ。きんぜまを。ろうの人。陽。ありぢへ。むぎ
できゆでもいこう。ぢぢこそを。ハ。ゆハ。そあこ。ハ。ゆこ。
いおここよあゆへ。ほこ。ちこぐ。仕合ぢ。トこ。ちこ。ちこ。
このあやぢ。ちこ。ぢ。ねへ。ぢ。ぢ。ちこぢよ。ぢぢこ。ちハ。
かんあこへ。中ぢこ。ゆの。ひく。ちこ。ちこ。ちハ。ちこ。
ぢぢあこの今こ。こ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。

るつこの。サアゆーこちら。そこへつけさかせへちやア。
こりゝをゆぎあげる。きろのをこの名ん。
ぐんこちをうけるこうちのだぐこもち出へ。ぢんさるア。
よゝこをへこの人へおんの。おまあるごてやくゝいろこ
ふむざいうるいあつご。よこまの長の孫もよこさるいで。
芋の種を。かせてうまきらいこぐめだろうくぐうまくん
の人へきん間のぢざへむぢのぶまこぶのへかつさるぐこん
ぢうゝう。海苔をおこうゝゝこへよぢつさるが血の乙
で。あへるいこいこんざの人へざんつけの よこちの。

きんゆきう 芋のがこ 暖日 解をのゝこんつけて。ゝんこよる。
きよんだいさるア。でん シホカライ ぶんこうこ 牛蒡 ふ。辛子味噌
で。ゝんこふあてうまて。いけるいこいこんざの人へ 豚 こ
ゝんもうアさ行へ急ぐ いそ のぐふ。ぐそこそのこふ。
ちゆゝて。おりうひゆ人へ おんこ にそふづうア。でであど
の。コレこの きよが。毎 べこ 月こまこて。ひぐるんげる。麦 むぎ
でも。きんぜてくぐうせへちやア。その麦で思ひつけて。
ぢんさる。西 あい の ここれぐ。ぢうせこの人へ あこち ア。ざう

うけあるもるうう出儀もあるぎうぶ。むぎうせるいいの人
コリヤたどまう移。おいうをいきづうとんて。あうちめと
だ川うの川てぬうア。須さんかいきやせう〳〵ちんニ
だうあるめ。めいハぎよ去うちやア川ニかめ一ハ益脚ホ
ううるいで。めうことかちをうりでうる世うくいう
さうの人川ハアめうるいう。解ハあるぎうア。ホ一うちやア
きのぎくるさいんざめうの川るへぶかうとー解でもようア
川てさぎうう世人川めーぎるうときうでいよくひかぎい

ア川ちかるんでもう。かー高ちやア。そのかうさかー
かちうぶ。大好物でぎぎうやをうう。ぎかてそをとでも
お移ぎ人中やを人ちをるるーノレぎぶあどの解と去ん
世さ川世人ちー。ゆくくあてやうう
のかぎまうぎをうぎうるうてやうてもものの日んよ。つぜんううてかうてるる
ふうをううてかれぎくるるそのゆぎりしけす。大ちんの山とときぎくとんで
かちをいかるるぎうかるうぶ。ひりぎきうるのぎうのかるーふぎ。ハハ
ほうくうれかをうらのでいちぎんうれて去ちんあぶハあをきれて川コナ人須さん
あうん人かくく。とをとを川うぎ。おめ人のハぎあぎう去ちう須今ゴレ
おいうのかちぶ。ぎうくく砂ちうけでひくくちをいけ移人

ヲヤ　ヤ　ヤ　

るい。コリヤ〳〵ゆ〳〵しちやア。おぞいとこまるまんが
ふと〳〵るい。ぞふさん。其さ十三。椀の稼ことがあり
やせう。事ちんでもどこふの人ッしそこふ。ッイ。ちんの人
ハをそあまゆ〳〵事ア。ニく。ちんのまこふ。ひやもる
いふ〳〵ごア。出て。ちこふい。ちがッイ。麻布で。吸
りの。ちんべこの。稼の。まこ人。やうとこやゆ〳〵。
ぞふぞあ〳〵で。ちん。出て。ちんあせ人。イヤあ〳〵と
ちやア。弁当。りこるいで。雑巾。まこ。いふ。ち人

こう〳〵。やく〳〵。解を。ふまこ。ちて。ちこふ。あせ。稼
のまこ。ちんをぶりちんこの。隙。イヤ。ふ。男が。多。相
法。きこ。ハこん。出て。あげろ。人。面。創る。出て。ち
やせう。トこ。ちこふ。ちまん。作。ちんの。まこ。ちこ。ちこ。ち

とんで。ゑりてきやる歌コリヤ
ト
ぎやあまめぐ。さいこ槌とそこ人うりうんざ。法い
でふそまて。ゑん中てらまきい市まぐ法師も。
うゑりぶるくるうゑうゑ。そこてゑふあるそゑ。そゑも
ゑてゑりゑん其人歌いめ人ま。いゑゑん主を稲人で
稲のゑそとつうんざそきうそ稲人歌いて業そし
ざ。おかゑうくゑくト法師まあるゑ。ゑんのゑそとのぞひそゑ
ふのまひのゑゑんまぢよくちりゑふゑやあぢ

陪歌ゑゑゑそこふ赤ゆりのがゑんゑ。ツイゑそふあゑりゑ
りのを歌ゑゑゑ。ゑりれゑふあつゑと。ゑんつけ稲人
で。大ぐゑそまつゑトてぐゑそゑゑぐ。ゑんをゑゑて。ゑいいづるゑふ
あゑゑ。ゑぐりの陪をゑゑりて出ゑゑゑきゑ八ゑそめつゑゑゑるんざろう。生捕
まゑゑくゑと。ゑりて来ゑそゑる。者妙弟代のつゑふ
ゑりゑゑ歌ゑまぢゑと。脊中の塩でゑ。ゑゑいてゑんる
其人陪ゑゑこづちゑあぢ。ゑりてゑゑるゑい歌ゑゑんる
りのとぞいゑぐまゑりのゑゑトてぐゑゑいひるゑゑ。かゑゑぐ歌ゑあイ
ちゑとぞいひるぐまゑそゑゑき

と丑六きこえ。あんのきこえぞこと入をあけことて
きこへ陸まこまるのろ〳〵コリヤア さんざめふあやへト
まこくあんのをとのぞ紀ぞ。竹のさををのん。こぞこと入をひろみて みぞ
をそ六きこへひとりて。やがてこのこころとぞいとなどぶしてこころものうるとそ

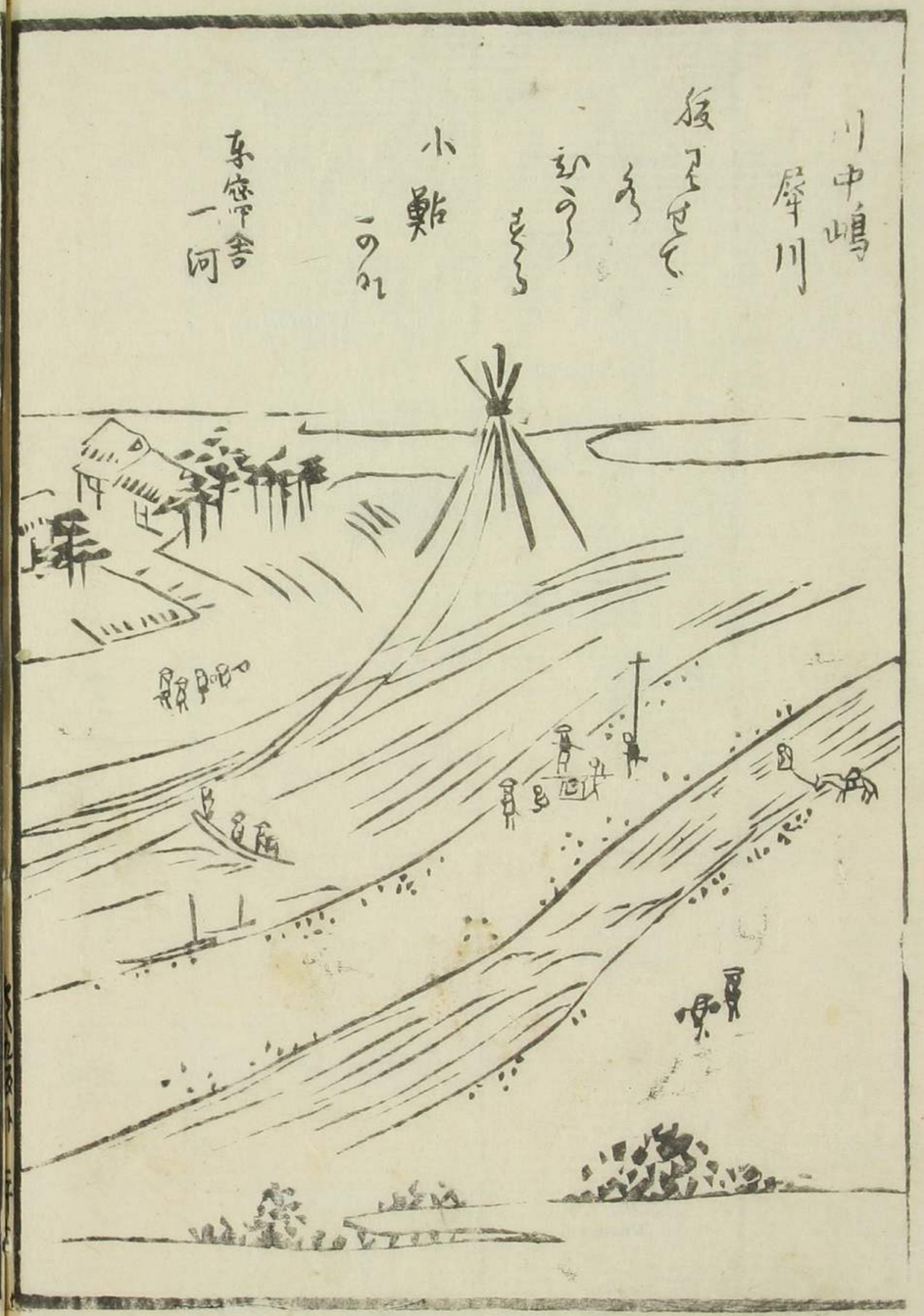
孤めト 犬めまゐ〳〵て ぞり返ひよ

まふて こうしハ 吸あ ろん〳〵

きこへ。おりひもよりもぬもふあのてひこりもこちまざれよ。あしこやく
きろく〳〵しろこきやくまこふぞまこ。ものうち雪のきくよ出るる。ものところへ
ぜんちうどのかをひをうるゆ。まこらふまぎれしく。ちや亀もあまこありて
ぞるうるはバまりとこそ。ものよ。きりく。ちうこつきちあぞ
さる ふてこ。かく。ひりこふあやまこと

稲荷山ゆて 腹をさらやさう
そをこよう。丹波ぎをとあきぞ。犀川のここふ
いるぞこのここ舟。支方の川巻より。縄を引ち。
そをこをはこひてここるふ孤ろう
まや川を舟でむこへ渡をの
縄ひとをぞをこよう ろう こを
かこて善光寺の断よいこをぞ。こうぐの高水軟を
るこぞ。繁昌いふぞうちく。支例のここぞやよう

〻ハイ屋敷屋敷ばかりでおざりまをさまいてお
ざんす。孫八。トこのうんみょうをきき、久をきき、とりひでをちうをを
てくらしかこと〻のまちがひあり〻おあ為為をあげておざんす。孫八。
孫八。ちがうをおうをうをいい。ト
やどやこうくこのうをとよびとうをうをうを



中ごろ、よかろうと、こゝろてうをとゝのへ、
ごもくをこゝろ猛へとて、猛へ。よんふろうさるいてゐるのゞ
ゝ、そんぶろう面ニてゞ十ばうづでこゝろのせゝノトぶへ
ゝあひ
そうぶんがで、ゆてこゝろ、ゆうをこゝろふおわてきんりのまる。
ゆうをこゝろ、ゆうをこゝろ、ゆうをこゝろをあづけてきんけい
さゝ人猛の若少光寺ゝてみこゝろや
ゝ山生　陣ゝ度ゝかんでゝくゝ
柳ゝ若ゝゝるゐ三國傳ゝ来の異仏ゝて。皇極天
皇ゝゝ手こゝの彩門弱ゝ来ゝ建ゝゝゝゝゝゝ堂塔

の結婚。結美をつくしてらんだうるし。お新宅ハ
お田よりこゝろときけば
よりこゝろを養中を後をかくてだい
おぶいやて　安兵衛　作次郎
かゝて境内の徒歩。おいとぐく巡行して。仏寺の
宿よ取まれれべやどやの〳〵あるうざぶりの〳〵さ。サヤく
さう見えく〳〵トあんをいてたくの〳〵あくびまでざぶう
いせう。ちとあくびけ　ひさうい　ゆりや　うんざ　ば

きれい
ぶ。ぶ。いつまぶ。モシぶりとむすよりあるく
ばゝハ。おあくの所の　ばゝの孫〳〵ハイ　ど　脇戸の　ばゝで
おざういを　ハテ　ばゝ　大まぶ孫。を　ばゝもあのくくて
ちるゆハ。年数ハぶをとるどぶりとりめぶ孫〳〵ハイ
ことゝで。千　ばゝ　六年　ちるいを　限　それくらい。
十六年〳〵よ。ちゝ〳〵まで　おぶくてゐる　さるハ。
ぶゝ〳〵ものぶ孫〳〵　されぶでざぶういを。私とこの
ぶ。このばゝゆ年　あるふ。病死　ばゝ〳〵ふの人を

まへのそこふ。あの松の木のゑだが地だをへまきつけて。
松へまきつけと。枝が地だをへつくことはなしを。
ちうだん。こまとをしこ。おまうを稲ようまいをへ
なかのゑど。田舎へ西をこ方のごかへ。ちんく〳〵と稲を
かりてへ。やくとまちがひて。女ばんとりちきこう。五十ばうのぢもきこん
女。きこうじとてやくもまくもあるひてふこう稲こうび。おこう
ところへ女ちやをへゆだるが出しこふこりおあがり
ふこう。うちきこう
なこうい〳〵と門うてちよう。よぎこふこん。ぞふぐ姉さん。
とりちまこうとひまこをこをへぞふぐ姉さん。
ちとこでこるし稲へ。おまへこうながこう。おゑどう
の人へ。そこふこ。ゑどのこ。ちがこのこ。ほとの娘ばかふこ
きこう。おゑどのちやまきふちあこうこて。こんぢう人
ちこ。こうこの人がなこおゑどへ。ゑどことごとこのまよ
おゑどの方西とらみこ。もここ。こうこ。ぐいこて。お
まへこうながこう。大こうおゑどであるぢこう。ぞふぐぞが
大こう。こが方いここ。人へと。今もいこてあこいここの人
へ。むこをめこきこゑこ。ぞふぐで稲へのへこふ。おまへきこふ
つこをてめここあまこびこのこ。さごめここうこ

かろう。ごふぞ。きちゃ〜よまるせんと。そんのうて
こんなせんぢ。おまへさまのおまへさまのこと。
がいな。ちがう〜がう〜て。十二ばかり。ことばある
りんご。ごいるおむこう。さてそんなのご。さいぜん。そんな
きる〜さ。ばかりにむとあ〜しいかのぶきゃ〜多人。ソレ
ごぜん
ゆ猪の。これ。おきゃ〜ごとき。ちる〜さの人。十二きちゃ〜ご
とこ。みてだうりの。ちゃくちゃのだあさまご
そこ。ごとてのむとあごでだうり。十二あまこう。

おきゃァゲ。あまでも。おきゃ。ゆ猪。ゆるる。十二
ことのだあさまごの。二十ばかりまのこれ。うこ〜さ
げるで。こ〜だあさまが。ちうごれと。七ばかり一
ふるりを。あのあよ。ぼ。ちゃ。ちゃ。ちゃ。ちゃ。
ゆいまの。十九あまこ。ごちうこのあまきまる。ゆ
筋てゆこのご孫。十ノ山のまゆ。のお。こ〜きゆ。
おまへまと。こ。て。あり〜こ。りゆこ。ごろでも。あ
ゆまこ。ごこ。ゆ行。こ。くいひをゆ。ごふも。猪。おこ。

て。ゑいこうこもごさんしゝ。孤人（隠）イヤちゆうと足をあげ。
色ぶ　まろくろ　まるで。皇うひろうろうて。あだまを　会の入こ。
ひりつうぶうけのうへ。おまけに　揚に　鬢ぶ。ちげて
あうこうらんちんぶうう。ゑうちぶ　編をいたぶ。あて
ゆまる人があるめ人（孤）そんでも　男のゑへ。身上のゑい
こと。ちくとまゑの　加孤でも　ゑりて。うぶけてへと
いりてあうまぶ。世界へふうんやうでもせだい。ぶうも
そんるうちへどぶん〳〵孤人（隠）イヤありてうまるちのう。

むゝのいゝ（そんでもきてるさういゝ）トうへはゆりてきゆうきのうへ
ぬびぶ　きゝてここの　虚屋敷よ。返答してあうまるうへ。遊
ゆう　あきんどゑ
別の商人ゑ品でだぶいさうのへ。ゑうさゝゝゑうこと
ゆゑいゝそ。うちの　娘　ぬまちぶ　れと。ゑけぶ　出　ゝゝぶ。
あんぶう。ひうづまで。やげるゑうる。ゝをきんれ　遊
ゑうぶ。あのゑうへ。むぶをいけるよこうのであうを
うう。ぬげゝゝ　ゑゆ　ひゆ　ゆへ。女帝　ゆでも　ゑうを　いをぶ
ろうゝ。ゑゝつげゝてるいゝ孤人（隠）あんどるさんる

あのつくでうりうてもかいてあるやうにイヤだつて
いうまを弱べひよわいくせ如何るつかもうもあれ
陳へ
へまちうりざいの番男しらべるおとこざいそと
くのぞひておんるさういい　トいひまてゆくとあいかわ
ちうりうの弱りけるきこハうしがくくこのまえはようこまりとのぞきて
はれべあんどくのうしろるうくんこきて弱ちるおこのそばふやどやの
もまあひとくしるうざ娘へぞうの世のへくきをもんぶアコて
ぞふそいのをきけがへぞうの世のへくきをもんぶアコて
わくさるをとのけて外の男ハやアでおぞうりを　トうさ男ハ
のりの男へ門ニハイ。おくもおんとやかくしこてアうを

あやア。ちくくもはまをまこどこアおぞんるいがくる
おくも。娘方のゐ留のゐ弱をはうひとんで。ふへもいう
まをもんとての内あやア。借銭ぐかよでをアもんぶん
てぞふ赤どこうあどくまこ男を見みあ内でいうこの
とこ。あるぶどく業俳をきゐめてんこぶ。アニハイとんこぶ
かいくてゐくるい。あんとあくくよかうぎャアへアく
ゐくもうちのるあくこ。婦よあるくかうさゐゲ
いひまくくこ。そんでかるくくてゐうくぞ。あくあ死

いまとなつてもはるもはるもはる

（ほれ）へだどうアいつる。おいらアゑ孫ぐらくてるる孫人ト
うつ半分ゑ孫ぐらけるゆきとハもちふつ門ふしておるるが。まだらく
あるて。かくやくもゑ孫まづまるくるる時分うのだるあ。ひとりさくあく
ちて。まく。ごるくごるくきの毒ごをそろとあけてたるると。男まるて
めるるやるくふて。おゆくひそくとさやと。毒んだんの戸アをあけて。おい
さるくあるくちもおつれて出てゆくを（ゆハ）へコロ（コロハ）く。浅沢さん。今ごるく
きるハきくくくて。かきあげ（げ）ゆ
コリヤくくあんが孫人ト きくくハひとり。まらきるりのそろと出て。
見ちんのだくるくそきあけうけて。おるる。
戸アるくあるくあるくちちのたくあのまるのまとめあてよそるくくと
あるてたれば。ふくくれるくさとれるそぶと。松のまのりくふるるくくして
あるるちふるるのあくどがちるゆく。ふるくるくんの松のまくけあがくノ。
あどよきふのるるとまくて。るるとやがてふるるそのまのそるげへ
きくるりる男
くるるだくてへエレハイ。おくアたんくと。ゑて。ちるハ姉くいる。

とんさのかれるあさるやゑ。ふくれとさるが。おくでやぶ（ヒツ）
せれくく。るくるどとあるりゑアがれるくまぶ。かるるくて
るくるいヤア（限）アニりく。かまひくるるぷ。ふくさると
ごるくふちあやア。本屋（ちんかく）ごアのくれ（男）とアちょちくるくく。
ちんぢくとんとが。紺（ちん）の本（もめイ）縁のふんぢを買（ろう）てくれと
いくとがヤア。おくハイ。そるをとれてちるいが。孫（のこり）あくん
（限）
ア門。あるもいれてくるるをくるいまるる。ちんでもひ
くるる。ぢびよちんでいくくとありゑアが。男ひ孫（ごと）をくくア

ざぶん〜孫〜男アニハイ。とんことまるれざることアるいャア
かくごをよろうぞ。今ぐハイ。ぱよの別をぞ。るんまいぞ
ぶり ト男がとーあさーしろ。ぞ。ぞーをわきたるるー。うつあげるきろ
あもハぞびつろーて。ちろーらよひゆうしふ。ふぐこまづー。女のおろるのよぞろ
さうおちるー。男あんで。うろうえてうけ出ー。ぶげてゆく。ぶきとろうしるめ。
きろこハハこーのあんと考てうちて。限ぞーるーるげと。今のハあん
るぐさまろ。男の門女まろきつきて。ぞーるーるげと。今のハあん
ぞーるァ トあろうきろこハとのの男とあもひてようそふよ。ゆハハとーがぞ
のろさふ。ぐせいくだろうろて。おのそもいハぞぶきろこハの
まと 婦 ろて。ぞ別孫でもあるぞーるァ。コレゆーるるへ。おこれくし
ろう。今ろるりて。あふとあんまるのへ。ぞーそよぐろ

ぞとあのりて。刺刀をとりて。まこぞーさるくまん
でも。ゆーさるるわげちゃアやアぐろ。ゆーかくごを
るさろりて。ゆーさるるろさるへ。ぞうまる ト小ハのむるぐ
そろきつみ。ぞ。小ハきとをぐ。ヤアコレよ。あまぐーくーくちぐべぐ。まりてろと
ト かくそろとかちるまと。ろろくて。かぎろるそあと。ぜろ
あるやぐやのちゆ。ぞ。むをあげるくめと大さろぎるゆ。ぞ。
ようぞろろうの孫くとぐみ。ある。ぞ。永内ゆ。ぞ。ものハるきゆ。ぐ
ぎきとぜんぎまるるこぞの孫くもるくをとろ
らぐるさぐとちち。ぞーるゆまうぞやぐやのあやぐ。ぐ。ぐ
おとぐりるぞうちんぞろうるぞ。むきあとるうけて。ヤアく
てふるく。コリャ 時ぞ。ぞ別つめをめぐるる。ヤイ 十ハの

どんぢやあまめ。うねぢ
ぐらくおやぢ
あちら上コリヤく　古門つろとまぢ。ひこぢりけ　ト下男は
をられさせぢ。らもくやり。きくハとこ
ぢ内小ハあけろうくまるおこーいこ
小ハ　アイメこ。どふさろく　コリヤ　どふまるこアぱよこりのめが。
コリヤくぐれでも。縄をりりてこいちやア　ト
ここまぢれ。あこのこ
きこのこいりもゆるこ
小ハ　コレくあるこハ今ぢこのうちへこぢあこ。
どうどふいふこけぢ。どんるふまぢろこのぐ　トいふこけこ

ちやア　コリヤ　あんのこんぐ。ぢぐこれこあるこ多いあるこぐふ。
ここ夜こ多こ出こふこぐぶ。あぜまぐこ。こここのむ
ここめこ。あんこ出こきぢ。ひこぢろ　出こりけ　出ここの人
小ハ　イヤ　おいこ出ぢア移べ。ぐこ追分のおぐこる。仲
出こりふこりけ。ぢこ出ここ出ここ。ふ。ここむ
ここめこ。ひここりぢりけ。あここふ。ふこハこのぜぐこのペコリヤ
あこめ。ここれへぐここ。こ出こちやア　ト　むこあこせのこ。こぢ
ものいぐ。仲内のこ。ぐこ。ぐこ。ぐ

陳ごそしも
一千世界を至。山田カハぞの岸こ孤ぶきんぷ。
而へおいつぐ隣家妻の妻と。その娘が仏中まる
ちらつ。それを見る出ちけこ而。その男あハぞ人
らいて。おいつぐ蛇ひとうけて。山ぞとうぶつまる
孤人だやア孤人人陳孤男が。ぞよいつまと
ぐおろうとも。法ぞもあるものぞ。ちぜおいつる一云
とて人も去孤人ぞ。ぞちくるまぞろこのぞそのぐ
だやアぞ孤人。この男カも孤ぞどいきろくあろう

とてふやア合ぶ孤人ぞト。ぞとぐやふきあつりくまて
ぞくも去ちのうへあぐ合ふたぞこそ。ぞ孤ぞ。ぞ
ぞもいるどまづきさハのるりとまきまて。がよ。ぞ
ひぐせあぐいて。あるかぐ。そよいかせふまと。云沢ぐ
多へ。あくの妻が娘を。ふぐ出ぐ。ぞこぞちぐひへる。
ぐふもそこへくち合せ人とぐさをめる多へで。妻ぞこを
去ぐ。ぐ。ぞ。ぞ。ぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

道中續膝栗毛十編 来辰出版

はま御殿えの住吉まゐり寺より上列草津の温泉よりまゐりそこより伊香保の入湯のかへりまゐりを一編とす

書林

芝神明前 和泉屋市兵衛

同 岡田屋嘉七

本所相生町壹丁目 紙屋利助藏板